

入院診療計画書② 最新2020硝子体手術局麻右

患者ID: 0
患者氏名: 0

新規作成日: 2020年9月18日

日付	#####	入院日	基準日(当日)	1/1	1/2	1/3	1/4	~	1/5
				術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4~5日目		
		手術前	手術後	疼痛がない					
目標		手術について理解できる					日常生活の注意点について理解できる		
		転倒予防行動ができる		安静が守られている			転倒予防行動ができる		
注射		手術前に点滴をします。	帰室2時間後に、抗生物質の点滴があります。						
投薬	点眼の時間、方法、手技を説明します。	7時までベガモックス点眼を実施します。 手術2時間前から、散瞳のための点眼を看護師が行います。	点眼はありません。ただし逆側の点眼がある場合は実施します。	点眼を行います。 医師の指示があるまで看護師が行います。 医師の指示が出たら、自己点眼へ変更します。 毎回看護師が確認しながら実施します。				7時の点眼までは病院で実施します。	
	持参薬の確認をさせていただきます。 入院中は看護師にてお薬をお渡しします。	食事の止める間は血糖を下げる薬は中止です。 手術2時間前に、眼圧を下げる薬とともに中止薬以外の薬を内服します。	中止薬は食事の再開とともに再開していきません。						
処置	手術部位の確認のためのマークをつけ、まつげをカットさせていただきます。			朝診察があります。順番にお呼びするのでお部屋でお待ちください。 日曜日は診察はありません。				診察後退院になります。	
食事	昼から食事が出ます。	午前中手術の方は朝食が食べられません。 午後手術の方は昼食が食べられません。	手術2時間後から食べたり飲んだりできます。						
清潔	入浴が可能です。 入浴は予約制となりますので看護師にご相談ください。	入浴はできません。	手術後は眼をぬらせないため、洗顔禁止です。 朝と晩に看護師が蒸しタオルをお渡しするので、それで顔を拭いてください。 許可が出るまで、髭剃りはできません。 退院前日、首から下のシャワーを行います。また介助で洗髪を行います。 それまでの間は清拭になります。				退院日は入浴等できません。 退院後も次回外来までは顔を洗ったり、頭を洗うことが出来ません。		
排泄	毎朝前日の排尿・排便回数をお伺いします。	手術前にお手洗いを済ませてください。	お小水の管が入ります。	診察前にお小水の管を抜きます。					
活動	安静度 特に制限はありません。 外出・外泊は出来ません。 転倒転落に注意してください。 術後うつ伏せ体位を取る可能性がある方には、 <u>うつぶせ枕の使用法について</u> 体験しながら説明いたします。	特に制限はありませんが、点滴や点眼があるので出来るだけ自室でお過ごし下さい。 手術室へは車椅子で向かいます。	手術後2時間の安静になります。 安静解除後も翌朝まではベッド上安静です。 手術後は治療のため、うつぶせでの安静が必要になることがあります。 うつむき姿勢の場合、再度顔の圧測定を行います。	眼の状態によって安静度は変更になります。 初回歩行は看護師付き添いで行っていきます。 術後、病棟外へ行くときは付きそいが必要になります。 うつむきの場合は退院まで継続です。 首や腰が痛い等何かあったら看護師までお知らせください。					
リハビリ			リハビリは特にはありません。						
看護ケア	1日2回お熱等測定します。	手術へ行く前にお熱等測定します。	手術より戻った際、2時間経過後お熱等測定します。				午前、午後にお熱等測定します。		
	入院生活時から退院までの流れを説明します。 (入院生活の御案内のパンフレットを確認してください) 術後うつむきがとなった場合、 <u>ストローが必要です。</u> <u>用意をお願いします。</u> 箱のティッシュを用意してください。 電動歯ブラシ、電動ひげそりは使用できません。	手術に行く時には、めがね、コンタクトレンズ、金属類などは外してください。 補聴器・義歯を使用の方はつけたまま手術へ行きます。 手術する側の補聴器は外してください。 手術着への更衣は看護師がお手伝いします。	眼を圧迫しないようにしてください。 痛みがある際には我慢せず看護師へ声をかけてください。 眼の安静のためテレビは音のみになり、視聴は禁止です。 その他携帯や新聞等も同様禁止になります。 退院前にパンフレットを使用し、退院の説明を行います。 リハビリテーションの予定はありません。	退院書類(診察券・次回外来・退院証明書) ・レンズカード ・点眼薬 上記をお渡しします。 (※ガスバンドは医師の指示があるまで切らないでください。) ・ネームバンドを除去し退院となります。					
	弾性ストッキング(血栓予防の靴下)のサイズを測ってきます。	血栓予防ため弾性ストッキングを履きます。 手術翌日歩けるようになるまで履いてもらいます。							